



国土交通省中国地方整備局
 山口河川国道事務所
 山陰西部国道事務所
 宇部港湾・空港整備事務所

令和4年3月25日

同時資料提供

山口県政記者クラブ
 山口県政記者会
 山口県政滝町クラブ

お知らせ

国土交通省 中国地方整備局

山口河川国道事務所

山陰西部国道事務所

宇部港湾・空港整備事務所

令和4年度の予算概要

問い合わせ先

○国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長	(河川)	やまがた こういち 山形 浩一	(内線 204)
副所長	(道路改築)	もりやま やすひと 森山 泰人	(内線 205)
副所長	(道路管理)	にしこおり なおき 錦織 直紀	(内線 206)
担当)	計画課長	わだ やすまさ 和田 康正	(内線 261)

電話番号 (0835) 22-1785

○国土交通省 中国地方整備局 山陰西部国道事務所 (山陰道関係)

副所長		やまむら よしはる 山村 嘉治	(内線 204)
担当)	工務課長	くらもと なおゆき 蔵本 直行	(内線 411)

電話番号 (0838) 21-3926

○国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所

副所長		やまもと くにお 山本 邦夫	(内線 10)
担当)	工務課長	かわしま よしてる 川島 剛央	(内線 16)

電話番号 (0834) 31-0409

山口河川国道事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

山陰西部国道事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/saninseibu/>

宇部港湾・空港整備事務所ホームページ <http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/>

目 次

I. 令和4年度の主な事業概要	1
II. 令和4年度の予算概要	2
1. 配分方針	2
2. 事業概要	3
3. 令和4年度の道路調査の見通し	4
4. 主要な施策、事業の概要	5

山口河川国道事務所
山陰西部国道事務所
宇部港湾・空港整備事務所

令和4年度の予算概要

《令和4年度の主な事業概要》

○河川事業

- ・佐波川^{さばがわ}一般河川改修事業は、真尾地^{まなお}先において堤防整備に必要な用地補償等を実施します。

○道路事業

- ・一般国道2号呼坂^{よびさか}自転車歩行者道整備は、令和4年度に新規事業として調査設計に着手します。
- ・一般国道190号宇部^{うべ}市役所周辺歩行空間整備は、令和4年度に新規事業として調査設計に着手します。
- ・一般国道191号奈古^{なご}歩行者道整備は、令和4年度に新規事業として調査設計に着手します。
- ・一般国道190号宇部^{うべ}恩田^{おんだ}電線共同溝は、令和4年度に新規事業として調査設計に着手します。

○港湾事業

- ・徳山下松港^{とくやまくだまつこう}国際物流ターミナル整備事業は、下松地区棧橋(水深 19m)、徳山地区岸壁(水深 14m)の本体工事等、及び新南陽地区(水深 12m)の調査設計を推進します。
- ・岩国港^{いわくにこう}臨港道路整備事業は、臨港道路の橋梁上部工事を推進します。
- ・宇部港^{うべこう}航路・泊地整備事業は、航路(水深 13m)の浚渫工事を推進します。

《令和4年度の予算概要》

1. 配分方針

- (1) 令和4年度国土交通省関係予算では、「国民の安全・安心の確保」、「社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大」、「豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくり」を3本柱として、令和3年度補正予算と合わせて切れ目なく取組を進めることとしている。
- (2) また、社会資本整備については、「総力」を挙げたストック効果の最大化や「インフラ経営」の視点に立った既存施設の計画的な維持管理・更新・利活用を図りつつ、波及効果の大きなプロジェクト等を戦略的かつ計画的に展開していく必要がある。
- (3) 以上のような点を踏まえ、一般公共事業等予算の配分に当たっては、
 - ・あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の本格的展開
 - ・インフラ老朽化対策等による持続可能なインフラメンテナンスの実現
 - ・地域における総合的な防災・減災対策、老朽化対策等に対する集中的支援（防災・安全交付金）
 - ・効率的な物流ネットワークの強化
 - ・国際バルク戦略港湾等の機能強化
 - ・成長の基盤となる社会資本整備の総合的支援（社会資本整備総合交付金）
 - ・コンパクトでゆとりとにぎわいのあるまちづくりの推進
 - ・多様な世帯が安心して暮らすことができる住宅セーフティネット機能の強化などについて、地域の実情や要望、事業の必要性や緊急性に基づき、配分を行う。

また、山口河川国道事務所、山陰西部国道事務所及び宇部港湾・空港整備事務所は以上の方針を念頭に置き、山口県の県づくりを積極的に支援するため、各種事業を推進します。

2. 事業概要

1) 山口河川国道事務所

事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	令和4年度	令和3年度	対前年度比
河川関係			
一般河川改修事業	435	573	0.76
小計	435	573	0.76
道路関係			
改築	4,425	2,945	1.50
交通安全(I種事業)	1,320	1,360	0.97
電線共同溝	541	670	0.81
小計	6,286	4,975	1.26
事務所計	6,721	5,548	1.21

注. 事業費はいずれも年度当初予算額である。

改築は、「岩国・大竹道路」(広島県分)は含まれていない。

一般河川改修事業は、小瀬川(山口県分)は含まれていない

維持管理に関する予算は含まれていない。

2) 山陰西部国道事務所

事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	令和4年度	令和3年度	対前年度比
道路関係			
改築	6,314	6,745	0.94
事務所計	6,314	6,745	0.94

注. 事業費はいずれも年度当初予算額である。

改築は、「益田・田万川道路」(島根県分)を含んでいる。

3) 宇部港湾・空港整備事務所

事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	令和4年度	令和3年度	対前年度比
港湾関係			
【国際拠点港湾】			
徳山下松港	3,640	3,540	1.03
【重要港湾】			
岩国港	1,100	764	1.44
宇部港	300	1,000	0.30
【地方港湾】			
油谷港	120	120	1.00
事務所計	5,160	5,424	0.95

注. 下関市域分は含まれていない。

事業費はいずれも年度当初予算である。

令和4年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

山口県・福岡県

しものせききたきゅうしゅう
下関北九州道路

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

山口県

みすみ なごと
山陰道 三隅～長門

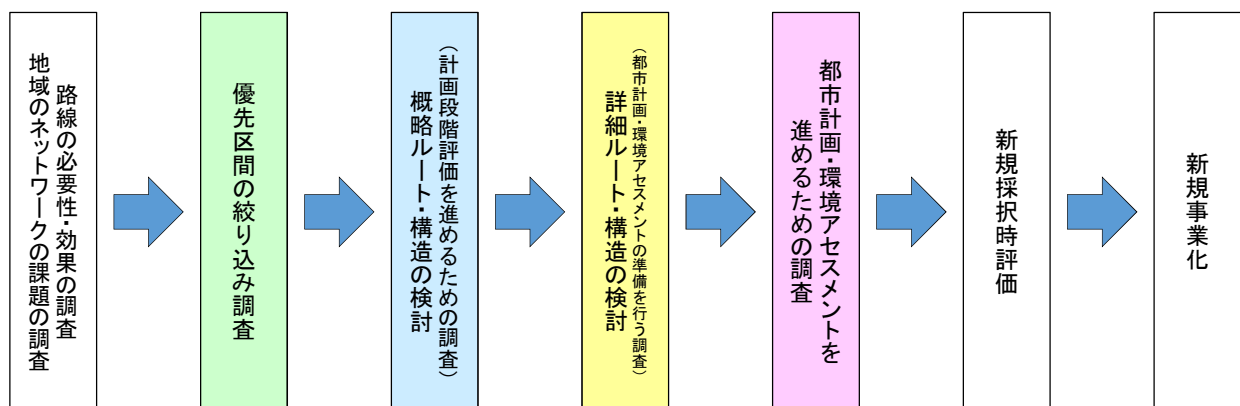
しものせききたきゅうしゅう
下関北九州道路については、計画の具体化に向け、山口県及び福岡県等の関係自治体と協しつつ、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施します。

下関都市圏及びその周辺部については、広域的な幹線道路ネットワークの機能強化等に係る調査を実施します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



4. 主要な施策、事業の概要

1)河川事業

事業名	令和4年度の概要	備考
<small>さ ば が わ</small> 佐波川一般河川改修事業 佐波川の無堤箇所対策事業 ～繋げよう <small>まな お</small> 真尾堤防～	堤防整備に必要な用地補償等を実施します。	資料- 1

2)道路事業

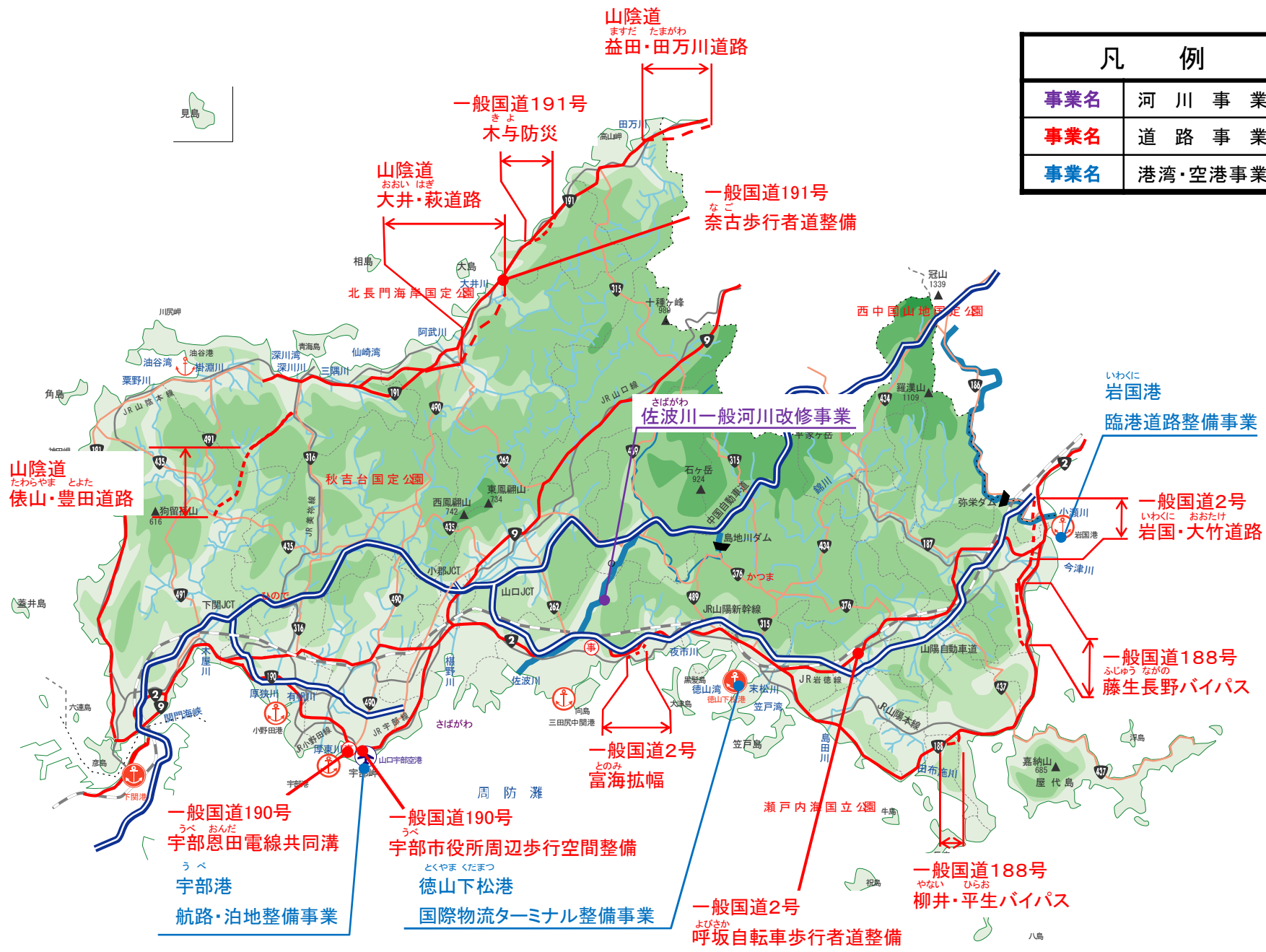
事業名	令和4年度の概要	備考
一般国道2号 <small>い わ く に お お た け</small> 岩国・大竹道路	調査設計、改良工事、トンネル工事等を推進します。	資料- 2
一般国道2号 <small>と の み</small> 富海拡幅	令和7年度の開通に向けて、改良工事、舗装工事等を推進します。	資料- 3
一般国道188号 <small>ふ じ ゅ う な が の</small> 藤生長野バイパス	調査設計、用地買収を推進します。	資料- 4
一般国道188号 <small>や な い ひ ら お</small> 柳井・平生バイパス	調査設計の推進及び用地買収に着手します。	資料- 5
山陰道 <small>ま す だ た ま が わ</small> 益田・田万川道路	調査設計を推進します。	資料- 6
山陰道 <small>お お い は ぎ</small> 大井・萩道路	調査設計を推進します。	資料- 7
山陰道 <small>た わ ら や ま と よ た</small> 俵山・豊田道路	改良工事、橋梁上部工事、トンネル工事等を推進します。	資料- 8
一般国道191号 <small>き よ</small> 木与防災	改良工事、トンネル工事、橋梁上部工等を推進します。	資料- 9
一般国道2号 <small>よ び さ か</small> 呼坂自転車歩行者道整備	調査設計に着手します	資料- 10
一般国道190号 <small>う べ</small> 宇部市役所周辺歩行空間整備	調査設計に着手します	資料- 11
一般国道191号 <small>な こ</small> 奈古歩行者道整備	調査設計に着手します。	資料- 12
一般国道190号 <small>う べ お ん だ</small> 宇部恩田電線共同溝	調査設計等を推進します。	資料- 13
<small>し も の せ き き た き ゅ う し ゅ う</small> 下関北九州道路	関係自治体と協力しつつ、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施します。	資料- 14
トラック・バス渋滞ポイントにおける対策	一般国道2号 <small>い わ く に こ う</small> 岩国港交差点において渋滞対策を実施します。	資料- 15

3) 港湾事業

事業名	令和4年度の概要	備考
国際拠点港湾 <small>とくやまくだまつこう</small> 徳山下松港 国際物流ターミナル整備事業	下松地区棧橋(水深 19m)、徳山地区岸壁(水深 14m)の本体工事等、及び新南陽地区(水深 12m)の調査設計を推進します。	資料- 16
重要港湾 <small>いわくにこう</small> 岩国港臨港道路整備事業	臨港道路の橋梁上部工事を推進します。	資料- 17
重要港湾 <small>うべこう</small> 宇部港航路・泊地整備事業	航路(水深 13m)の浚渫工事を推進します。	資料- 18

主要事業箇所【山口県】

凡 例	
事業名	河川事業
事業名	道路事業
事業名	港湾・空港事業



佐波川河川改修事業

事業費435百万円

資料-1

佐波川の無堤箇所対策事業～繋げよう真尾堤防～

※佐波川水系全体

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

防府市真尾地先は、堤防がない箇所や堤防の高さや幅が不足している箇所が存在しており、昭和47年7月に発生した戦後第2位の洪水や、平成21年7月洪水により、家屋の浸水被害が発生しています。

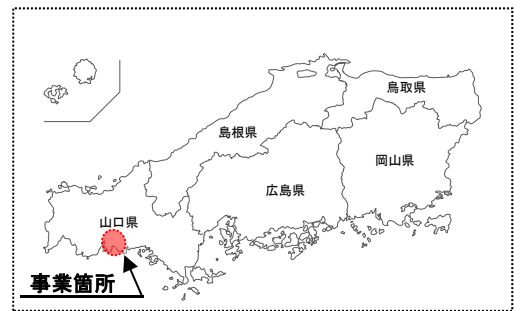
このため、佐波川水系における流域治水の一環として、佐波川（真尾地区）において無堤箇所の堤防整備等を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

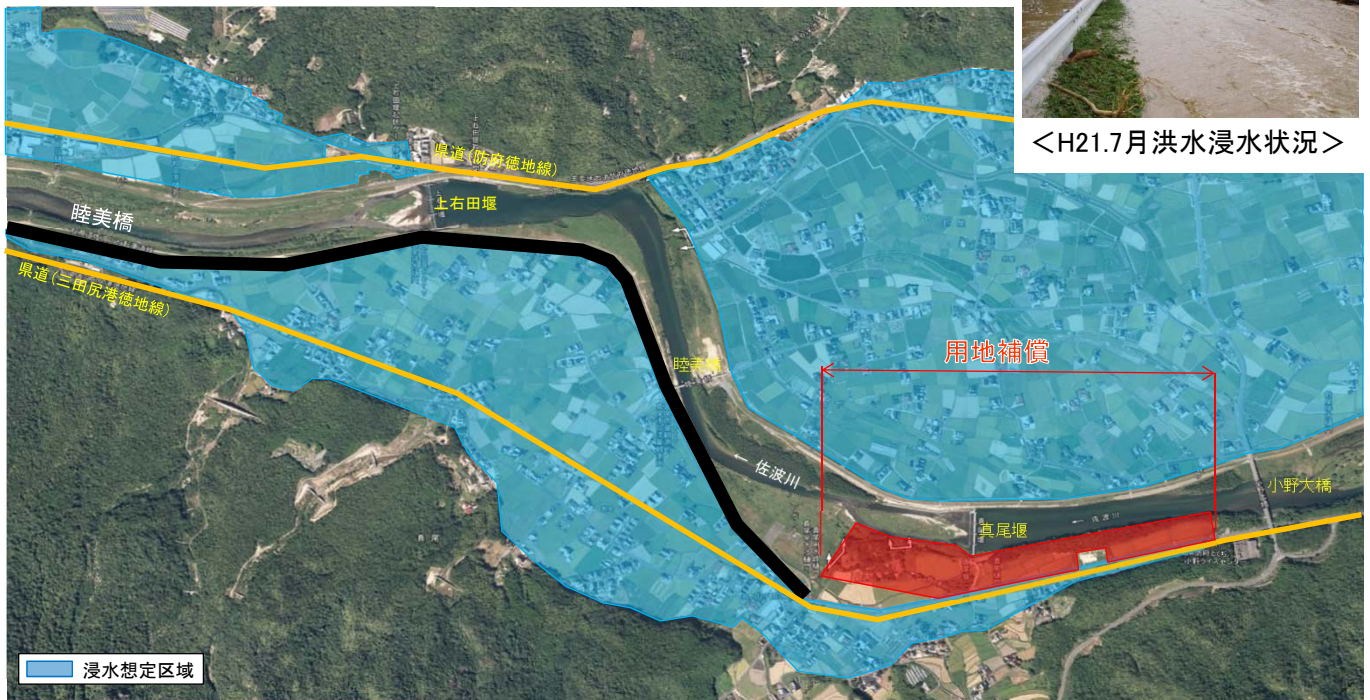
山口県防府市真尾地先

3. 令和4年度 予定事業内容

堤防整備に必要な用地補償等を実施します。



<H21.7月洪水浸水状況>



4. 期待される整備効果

堤防整備等を実施することで、事業完了後に河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水（戦後第2位の洪水）が再び発生した場合において、周辺地域の家屋浸水被害が防止されます。

一般国道2号 岩国・大竹道路

事業費4,080百万円
(広島県810百万円 山口県3,270百万円)

資料-2

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

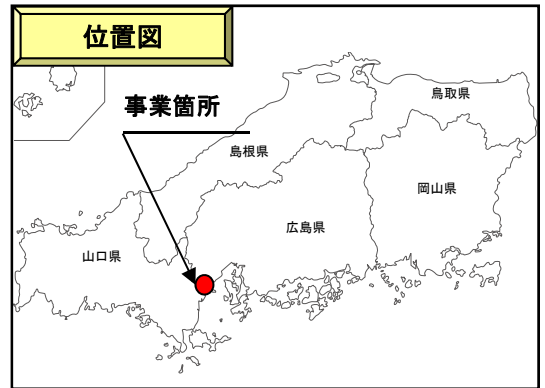
一般国道2号岩国・大竹道路は、交通混雑の緩和及び交通安全の確保、広島県と山口県の広域的な連携・交流を目的とした、広島県大竹市小方一丁目から山口県岩国市山手町に至る延長9.8kmの道路です。

2. 事業箇所

広島県大竹市小方一丁目～山口県岩国市山手町

3. 令和4年度 予定事業内容

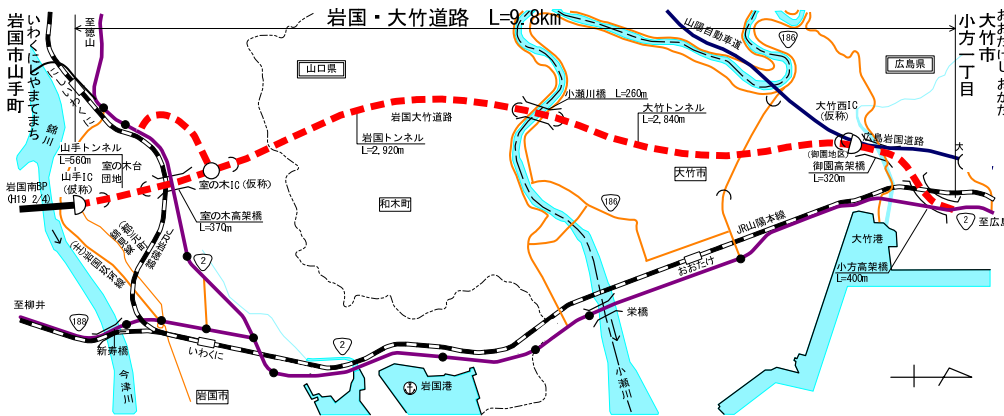
調査設計、改良工事、トンネル工事等を推進します。



信号交差点が連続する大竹市街の道路状況



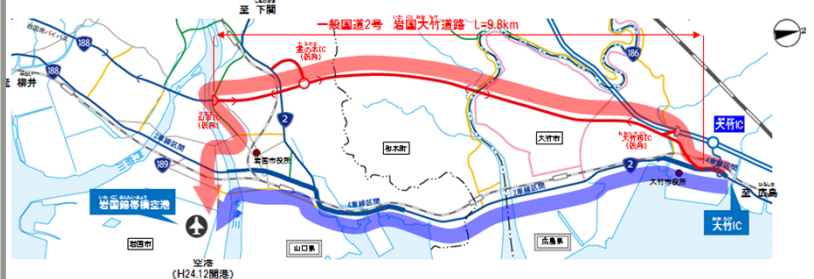
岩国新港地区(渋滞状況)



期待される整備効果

●所要時間の短縮

広島方面から岩国錦帯橋空港への**定時性および利便性の向上**が期待されます。



※現況所要時間は民間プローブデータ(H25.4~H25.8平日)
整備後所要時間は岩国・大竹道路V=70km/h(起点~室の木IC)、60km/h(室の木IC~山手IC)、H22道路交通センサス旅行速度で設定。

一般国道2号 富海拡幅

資料-3

事業費755百万円

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

富海拡幅は山口県周南市～防府市間における交通混雑の緩和を図るとともに交通事故の削減、地域経済の活性化を目的とした延長3.6kmの道路です。

2. 事業箇所

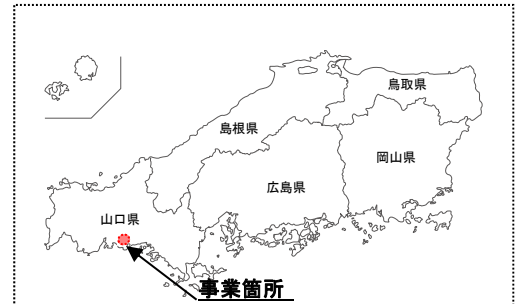
山口県周南市戸田～防府市富海

3. 令和4年度予定事業内容

令和7年度の開通に向けて、改良工事、舗装工事等を推進します。



※ 脆弱な大規模法面対策工事が順調に進捗した場合



【写真①】樺峠地区の施工状況

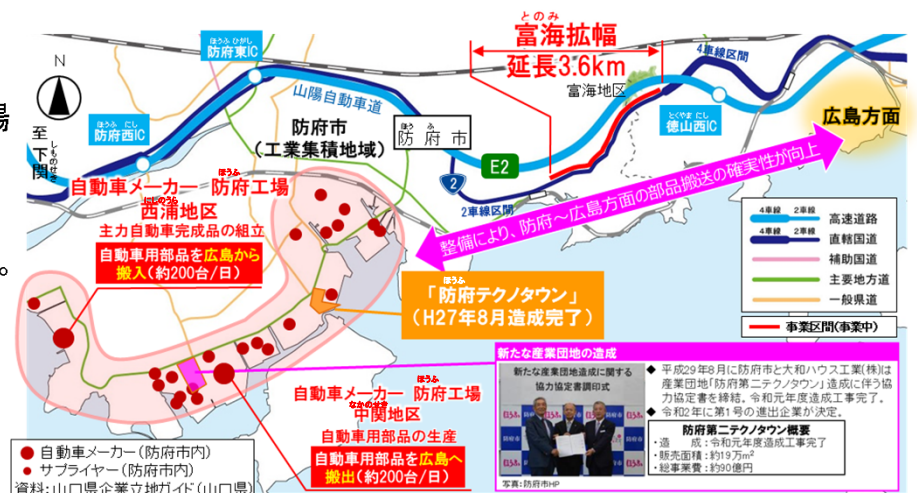


【写真②】石原地区の施工状況

4. 期待される整備効果

産業活動の活性化

- 自動車製造業が主幹産業の防府市には大手自動車メーカーの2工場を中心に関連事業所が数多く集積しており、令和元年度には新たに産業団地の造成が完了しています。
- 富海拡幅の4車線化による利便性向上により、部品搬送の確実性が向上し、自動車製造業全体の効率化支援が期待されます。



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

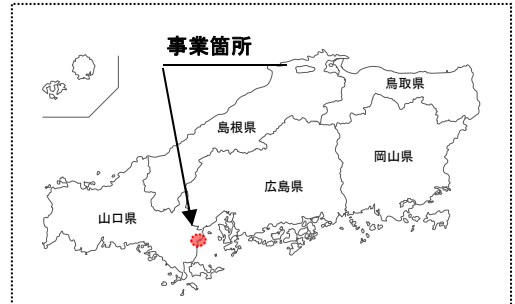
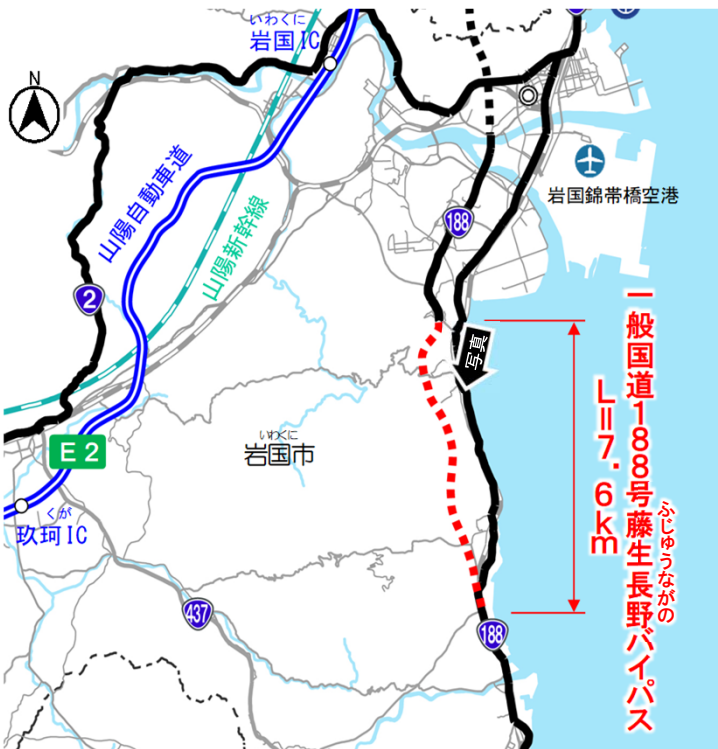
ふじゅう ながの
藤生長野バイパスは、交通事故の減少及び災害等に強い道路ネットワークを確保、岩国市付近の工業団地と岩国港等とのアクセス性向上を目的とした延長7.6kmの道路です。

2. 事業箇所

山口県岩国市藤生町～岩国市長野

3. 令和4年度 予定事業内容

調査設計、用地買収を推進します。



▲写真 交通事故発生状況

発生日	発生時間	規制時間	事故類型
H26.7.27	15:54	0:51	出会い頭衝突
H26.12.11	18:10	0:43	正面衝突
H27.12.20	13:14	0:40	正面衝突
H28.5.23	21:26	2:38	正面衝突
H28.11.24	7:32	3:43	単独事故
H28.12.9	8:32	1:17	衝突事故
H29.3.4	19:29	0:53	歩行者と接触
H29.4.17	11:37	1:18	単独事故
H29.4.28	16:25	0:25	二輪車と接触
合計		12:28	

4. 期待される整備効果

▲一般国道188号の通行止め事故発生状況(H26以降)

○バイパス整備により、現道の渋滞緩和、事故減少、災害に強い道路ネットワークが確保され、住民生活や物流活動を支援します。



一般国道188号 柳井・平生バイパス

資料-5

事業費100百万円

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

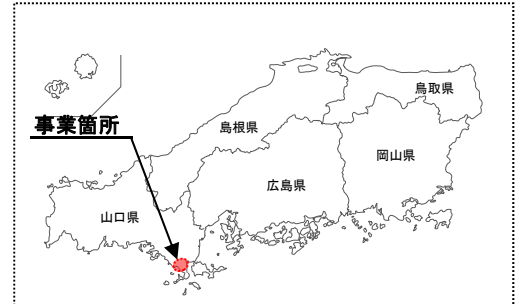
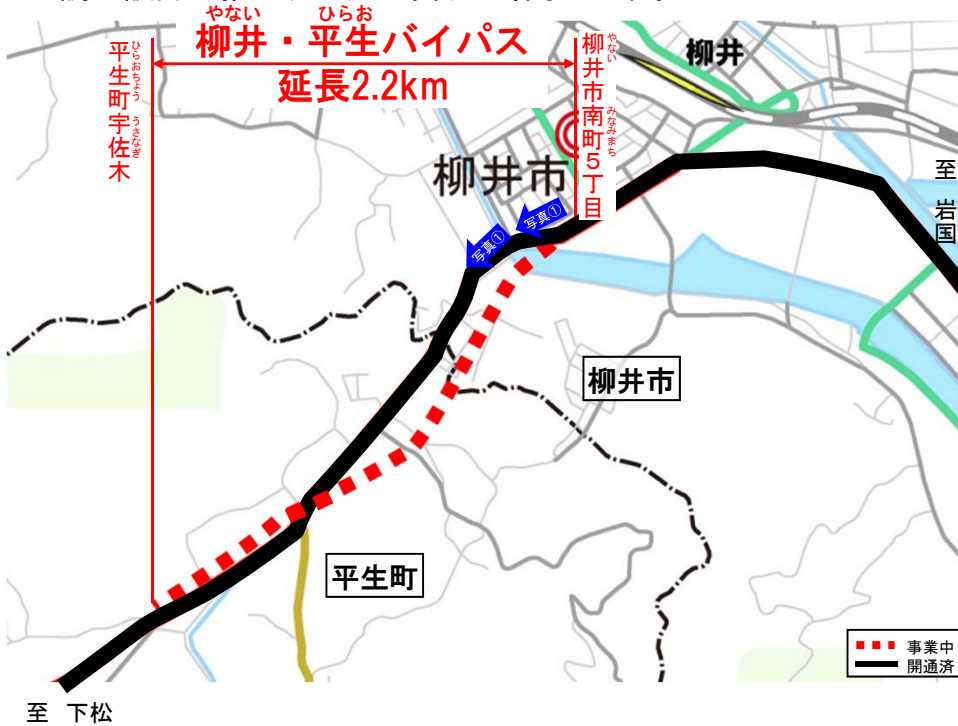
柳井・平生バイパスは交通混雑の解消及び交通安全の確保を目的とした延長2.2kmの道路です。

2. 事業箇所

山口県柳井市南町5丁目～山口県熊毛郡平生町宇佐木

3. 令和4年度 予定事業内容

調査設計の推進及び用地買収に着手します。



【写真①】交通混雑の状況



【写真②】狭小区間における自転車走行状況

4. 期待される整備効果

■ 幹線道路の交通混雑解消

- 第二救急医療施設への搬送は、国道188号が唯一のルートであるが、交通混雑や事故による通行規制により救急搬送の支障となっています。
- 当該区間の整備により、第二次救急へのアクセス性が向上し、救急医療活動を支援。

【平生町役場～周東総合病院の所要時間】

現況:9分 → 整備後:7分(約2分短縮)

※H27全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度より整備後は、柳井・平生バイパス設計速度60km/hで算出



1. 事業の必要性及び概要

事業推進

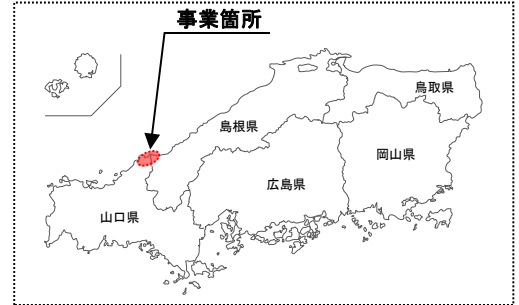
山陰道 益田・田万川道路は島根県・山口県の県境に位置し、災害時等の代替路の確保及び、救急医療活動の支援、物流の効率化を図ることを目的とした、延長7.1kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

山口県萩市下田万～島根県益田市戸田町

3. 令和4年度 予定事業内容

調査設計を推進します。



写真① 線形不良箇所・益田市飯浦町付近

4. 期待される整備効果

- 国道191号は山口県萩市と島根県益田市を最短で結ぶが、平成25年7月豪雨災害時には二級河川田万川が氾濫し大きな迂回が発生。
 - 益田・田万川道路の整備により、災害等による交通障害や道路寸断時の広域迂回が解消されます。
- 【萩市田万川支所～益田市役所の国道191号通行止め時の所要時間】
 現況 約112分(迂回時)
 → 整備後 約26分 (約86分短縮)



写真② 九州方面から浜田港への木材の運搬状況・田万川トンネル付近



写真③ H25年7月の冠水による通行止め・萩市下田万付近

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 大井・萩道路は、萩市中心部に位置し、災害時の代替路の確保及び、救急医療活動の支援、広域的な交流連携を図ることを目的とした、延長11.1kmの自動車専用道路です。

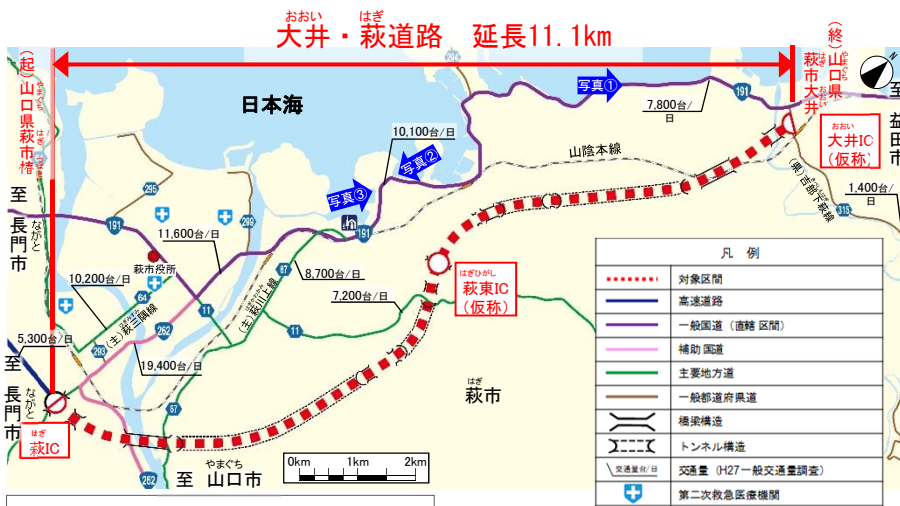
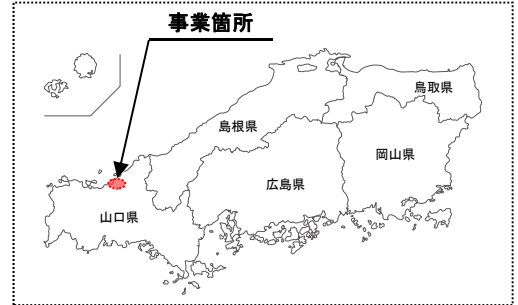
2. 事業箇所

山口県萩市椿～萩市大井

3. 令和4年度 予定事業内容

調査設計を推進します。

事業推進



写真① 越波による通行止め
・萩市大井門前付近

4. 期待される整備効果

○災害時の交通障害や道路寸断による広域迂回が解消されます。

【萩市役所～阿武町役場の国道191号通行止め時の所要時間】

現況 約78分（迂回時） → 整備後 約21分（約57分短縮）

台風接近時や冬期等において、越波や飛石、落石による通行規制が過去10年間で5回発生しており、延べ73時間の通行規制が発生している



【国道191号通行止め時の迂回】



写真② 事故による通行止め
・萩市椿東中小畑付近



写真③ 線形不良箇所
・萩市椿東中小畑付近

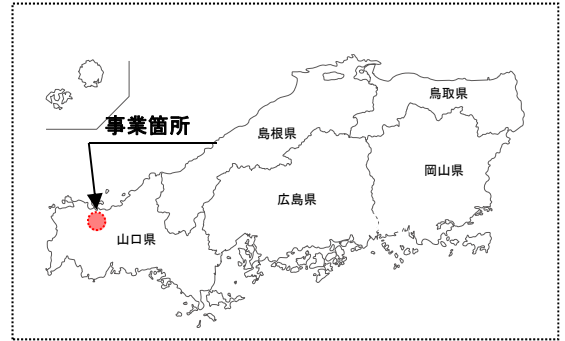
1. 事業の必要性及び概要

山陰道 俵山・豊田道路は、一般国道491号や主要地方道 下関長門線等の事前通行規制区間の回避、広域観光連携の強化、第3次救急医療機関へのアクセス改善を目的とした延長13.9kmの自動車専用道路です。

事業推進

2. 事業箇所

山口県下関市豊田町八道～山口県長門市俵山小原



3. 令和4年度 予定事業内容

改良工事、橋梁上部工事、トンネル工事等を推進します。

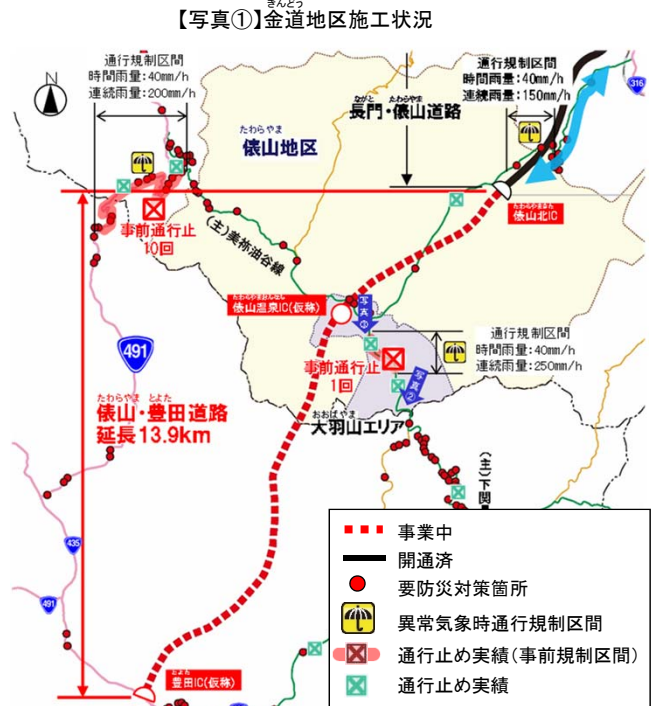


4. 期待される整備効果

■代替路確保によるネットワークの信頼性向上

○並行する国道491号や(主)下関長門線は、異常気象時に通行止め等の通行規制を実施する区間があり、過去10年間で通行止めは20件(総規制時間1,083時間)発生するなど、防災上脆弱な区間。

○俵山・豊田道路の整備により災害や異常気象時の代替路が確保され、ネットワークの信頼性向上に寄与します。



【写真②】長門市俵山大羽山



【写真③】長門市俵山大羽山

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

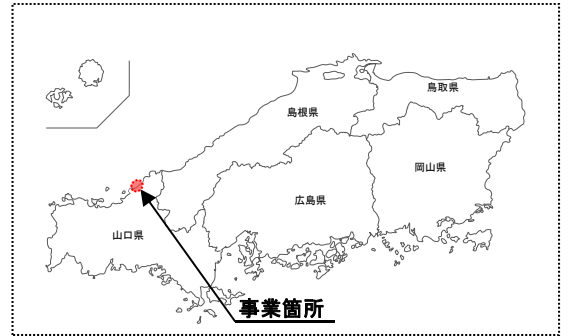
木与防災は、国道191号の事前通行規制区間を回避し、緊急時の代替路を確保することを目的とした延長5.1kmの道路です。

2. 事業箇所

山口県阿武郡阿武町木与～阿武郡阿武町宇田

3. 令和4年度 予定事業内容

改良工事、トンネル工事、橋梁上部工等を推進します。



【写真①】木与地区の施工状況

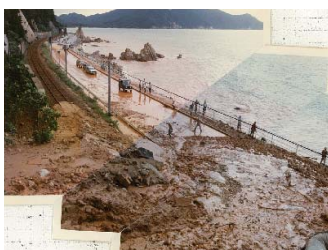
4. 期待される整備効果

■地域の安心安全を確保

○国道191号の事前通行規制区間を回避することにより、災害時の代替路を確保し、地域の安全安心を確保します。

■産業を活性化

○木与防災を整備することにより、定時性、確実性が確保でき、物流活動を支援します。



【写真②】S55年土砂崩壊の状況



【写真③】H23年土砂崩壊の状況

通行止め発生時の迂回路



※現況は、平成27年度全国道路・街路交通情勢調査の昼間12時間旅行速度を基に算出。

1. 事業の必要性及び概要

新規着手

当該箇所は、近傍に勝間小学校及び熊毛中学校が位置し、交安法第3条に基づく通学路に指定されているものの、狭隘区間があり非常に危険な状況であるため、令和3年度通学路緊急合同点検における要対策箇所となっています。

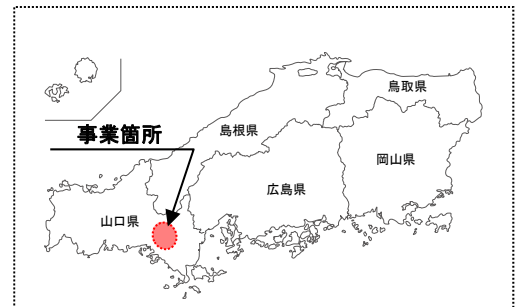
本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、下り線の自転車歩行者道の整備を行い、安全・安心な道路空間の確保を図るものです。

2. 事業箇所

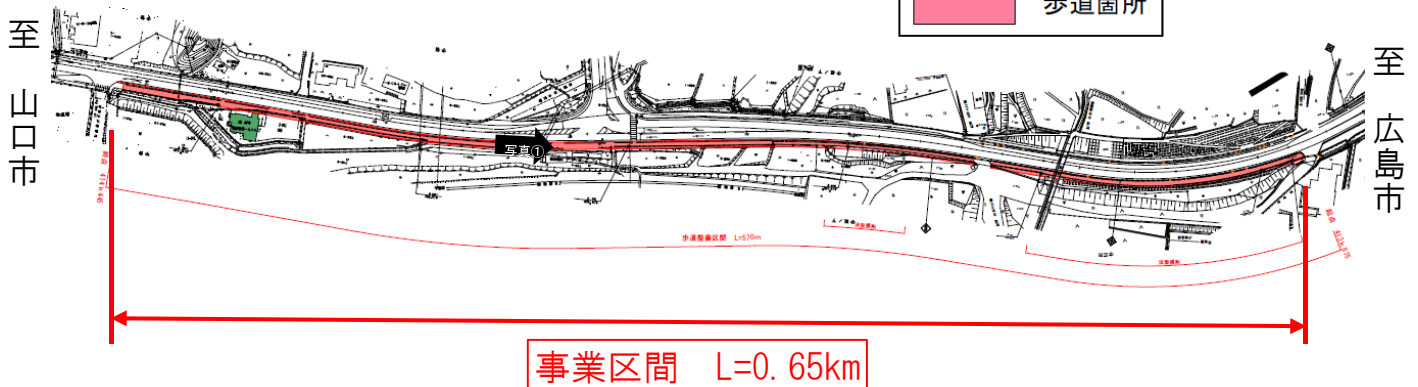
^{しゅうなん よびさか} 山口県周南市呼坂

3. 令和4年度 予定事業内容

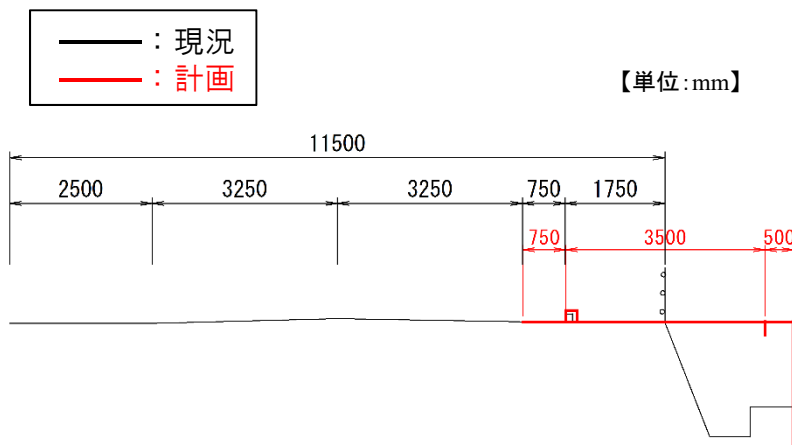
調査設計に着手します。



《平面図》



《断面図》



写真①：歩道未整備状況

1. 事業の必要性及び概要

新規着手

当該箇所は、近傍に阿武^{あぶ}中学校及び阿武^{あぶ}小学校が立地しており、通学路として利用されているものの歩道がなく、非常に危険な状況であるため、令和3年度通学路緊急合同点検における要対策箇所となっています。

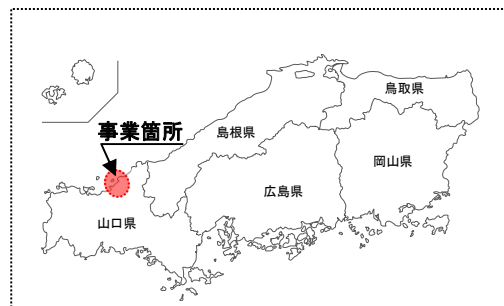
本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、歩道を整備し、安全・安心な道路空間の確保を図るものです。

2. 事業箇所

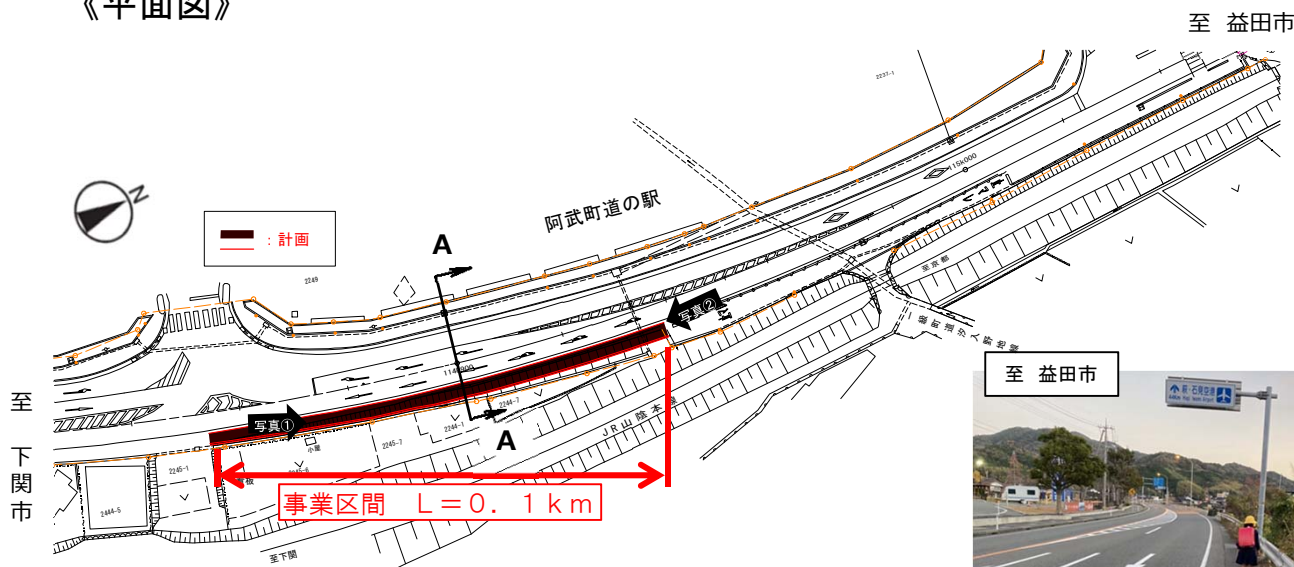
あぶちょう なご
山口県阿武町奈古

3. 令和4年度 予定事業内容

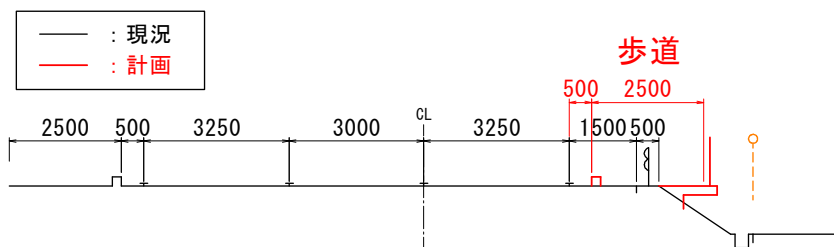
調査設計に着手します。



《平面図》



《A-A断面》 単位:mm



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

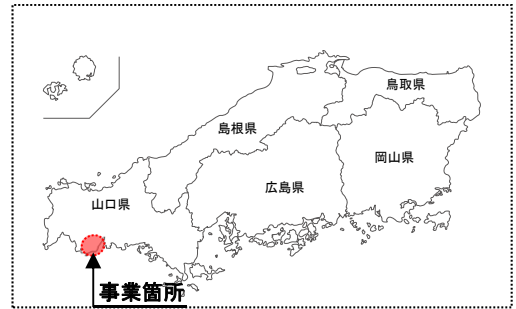
宇部恩田電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに災害時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりの支援を目的とした事業です。

2. 事業箇所

山口県宇部市恩田町～
山口県宇部市松山町

3. 令和4年度 予定事業内容

調査設計等を推進します。



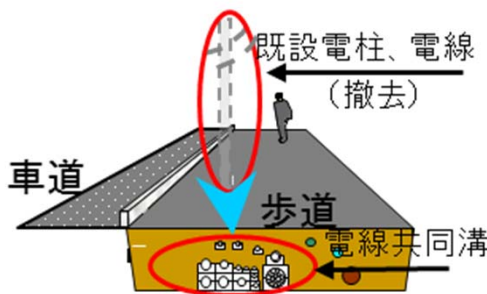
平面図

現況写真



(4. 期待される整備効果)

《イメージ図》



《整備の必要性(イメージ写真)》

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。



<電柱の倒壊による道路閉塞の事例>

<飛来物による電柱倒壊の事例>

<歩行の支障となる電柱の事例>

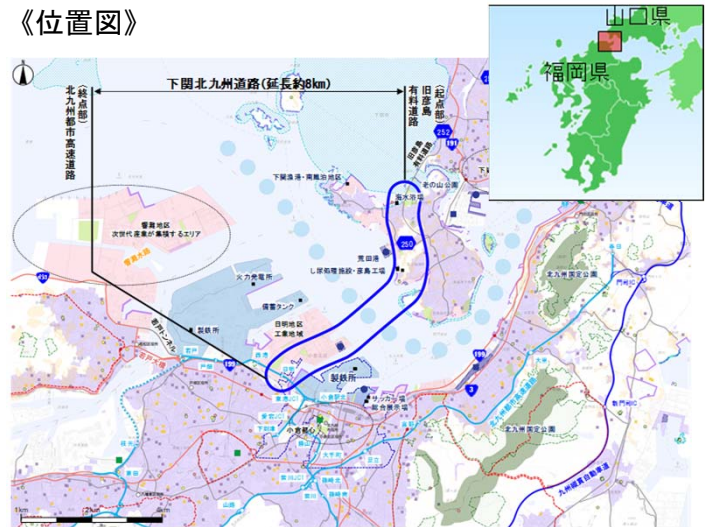
○ 調査の概要

しものせき きたきゅうしゅう
 下関北九州道路は、下関市、北九州市の都心部を結び、循環型ネットワーク形成により、くらし、産業・物流、観光、渋滞緩和など地域の一体的発展に寄与するとともに、本州と九州の広域的な人流・物流及び経済活動の活性化を支える大動脈、災害時の代替路としての機能・役割を担う道路です。

令和4年度は、引き続き、山口県及び福岡県等の関係自治体と協力しつつ、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を推進します。

継続

《位置図》



※海峡部の構造形式は 橋梁

○ 当該地域の課題

- 令和3年8月の豪雨時には、関門橋が通行止めとなり関門トンネルに交通が集中し、周辺部が渋滞。
- 関門トンネル・関門橋を利用する交通需要の約8割が広域交通(地域内外・通過交通)であり、通行止めにより約7万台/日に影響する可能性があり、地域のみならず広域交通にとっても課題。

＜令和3年8月の豪雨時の影響＞



ETC2.0プローブ(R3.8.14(土)16:00~17:00)

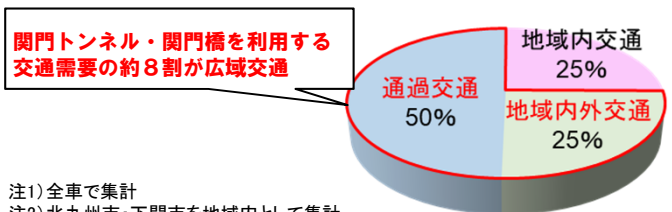
□北九州市方面へ向かう車両で長蛇の列



写真: 国道2号下関市勝山付近 [R3.8.14(金)17時台撮影]

＜通行止めによる本州-九州間の広域物流への影響＞

□関門トンネル・関門橋を利用する交通需要

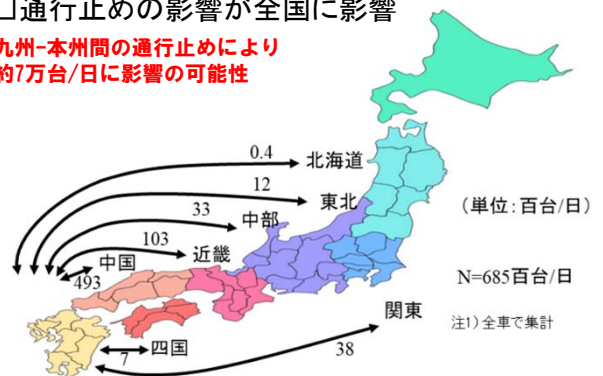


注1) 全車で集計
 注2) 北九州市・下関市を地域内として集計

資料: 全国道路・街路交通情勢調査 自動車起終点調査 (H27)

□通行止めの影響が全国に影響

九州-本州間の通行止めにより約7万台/日に影響の可能性



(単位: 百台/日)

N=685百台/日

注1) 全車で集計

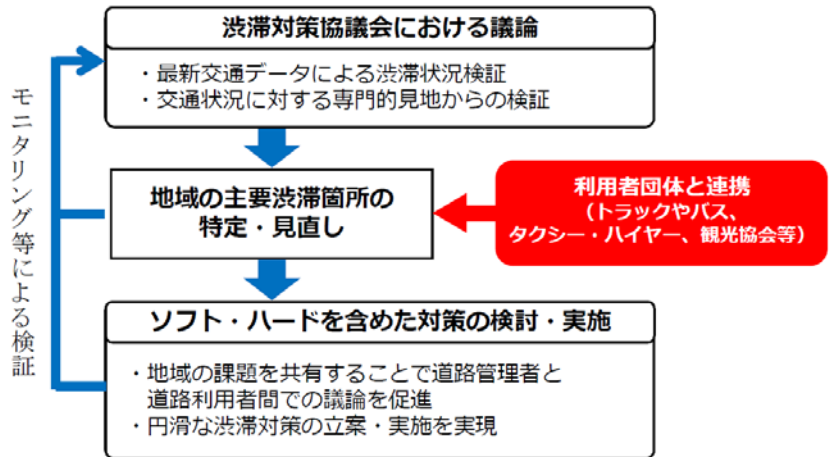
資料: 全国道路・街路交通情勢調査 自動車起終点調査 (H27)

1. 事業の概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化し、利用者の視点で渋滞箇所を特定した上で、速効対策を実施する取り組みを全国で推進します。

渋滞対策の推進体制



2. 主な事業箇所・事業内容

さんぎょうどうろ
国道323号 産業道路交差点
(鳥取県 鳥取市)



<<右左折レーンの設置を予定>>

ひがしまち
国道9号 東来待交差点
(島根県 松江市)



<<右折レーンの延伸を予定>>

あおえ
国道2号 青江交差点
(岡山県 岡山市)



<<車線運用の変更を予定>>

ぎおんしんばしみなみ
国道54号 祇園新橋南交差点
(広島県 広島市)



<<路面表示(導流路)の設置を予定>>

いわくにこう
国道2号 岩国港交差点
(山口県 岩国市)



<<路面表示・カラー舗装設置を予定>>

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

徳山下松港は、西日本に立地する火力発電所や鉄鋼、製紙、化学工業等で発電燃料に用いられる石炭の輸入拠点として重要な役割を果たしており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に選定される等、更なる発展が期待されています。

石炭を輸入する企業が利用する既存ターミナルは、大型船に対応しておらず、積荷調整による非効率な輸送を余儀なくされています。このため、下松地区、徳山地区および新南陽地区において、大型船に対応した岸壁等の整備を推進します。

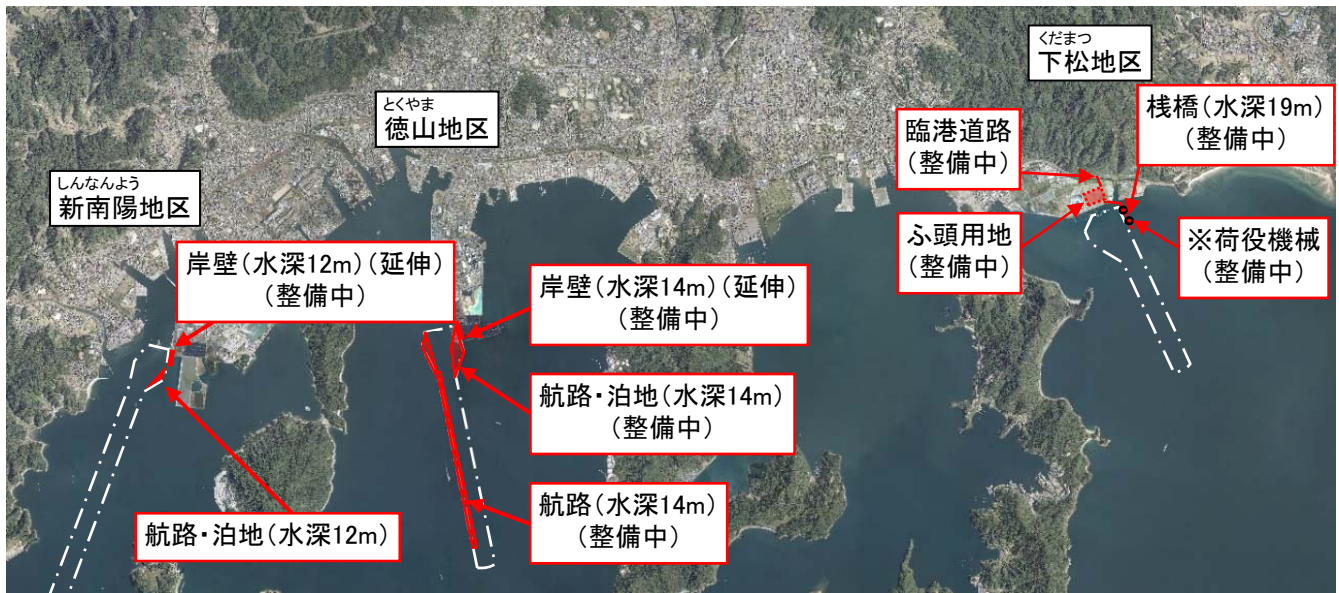
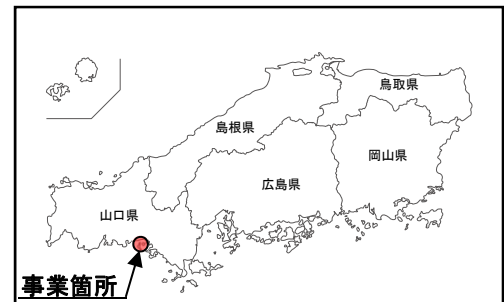
2. 事業箇所

山口県周南市(徳山地区、新南陽地区)、下松市(下松地区)

3. 令和4年度 予定事業内容

下松地区棧橋(水深19m)、徳山地区岸壁(水深14m)の本体工事等、及び新南陽地区(水深12m)の調査設計を推進します。

※上記のほか、民間事業者の補助事業として、貨物積替円滑化支援施設(アンローダ2基、ベルトコンベヤー)の本体工事が推進されます。



4. 期待される整備効果

本事業により、企業間連携による大型石炭運搬船を活用した共同輸送の進展への対応が可能となり、地域産業の安定・発展や国際競争力の強化が図られるとともに、西日本地域の石炭輸入拠点となることにより、石炭の安定的かつ安価な輸送の実現や大規模災害時における物資輸送機能の維持に寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

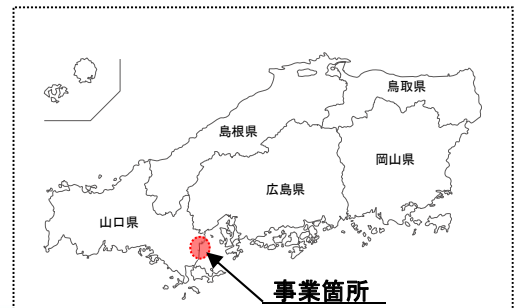
岩国港は、石油化学コンビナート等を有する工業港であるとともに、国際コンテナ貨物の取扱港として地域経済を支える重要な役割を担う港です。

しかし、港内のふ頭間を結ぶアクセスルートがないため、港湾関連車両は混雑が激しい国道2号や住宅地内の市道を通行し、非効率な輸送を余儀なくされています。

このため、港湾貨物の物流効率化や住宅地の生活環境の改善を図るため、臨港道路の整備を推進します。

2. 事業箇所

いわくに
山口県岩国市



3. 令和4年度 予定事業内容

臨港道路の橋梁上部工事を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、ふ頭間の臨港交通ネットワークの構築による物流効率化が図られ、背後企業の国際競争力強化に寄与します。また、住宅地内の市道を通行していた港湾関連車両の通行ルートが新たに確保されることにより、周辺的生活環境の改善に資することが期待されます。

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

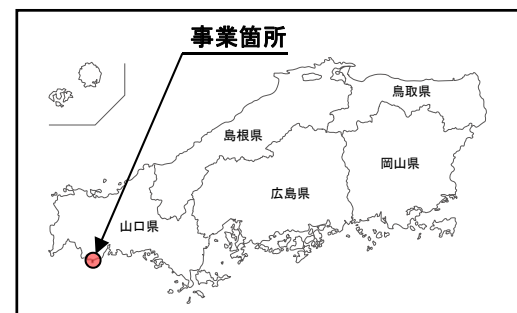
宇部港は、背後に集積する基礎素材型産業を支える工業港として重要な役割を担っており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、航路が水深11mで暫定供用となっているため、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

このため、大型貨物船による効率的な輸送に対応するため、水深13mの航路整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県宇部市



3. 令和4年度 予定事業内容

航路(水深13m)の浚渫工事を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、大型貨物船の満載による効率的な輸送及び安全な航行が可能となり、物流コストの削減により基礎素材型産業の国際競争力の維持・強化に寄与します。